

共同研究事業一覧(人文・社会科学分野)

年度	事業名	代表者	主な研究活動
2009年度	日本企業と台湾企業の海外進出行動の国際比較: 立地選択の決定要因分析を通して	松浦寿幸(慶應義塾大学産業研究所)	日台双方の研究者によるデータ分析とデータベースの構築
2009年度	1950・60年代台湾史研究—日台若手研究者による歴史研究	張力(中央研究院近代史研究所研究員)	台湾での史料収集 日台双方の研究者によるワークショップ
2009年度	台湾の民主政治と金権・腐敗問題	松本充豊(長崎外国語大学准教授)	日台双方の研究者によるワークショップの開催と学会での発表
2009年度	日本統治期と戦後の台湾社会に見る他者像構築に関する研究—日台の日常的な接触/非接触到注目して	上水流久彦(県立広島大学地域連携センター助教)	日本、台湾、韓国の研究者によるワークショップの開催
2008年度	戦後台湾研究の新展開—日台若手研究者による政治研究と経済研究の接点	張力(中央研究院近代史研究所研究員)	台湾での史料収集 日台双方の研究者によるワークショップ
2008年度	高一生(矢多一生)とその時代の台湾原住民族エリート—高一生誕生100周年記念国際シンポジウム—	下村作次郎(天理大学教授)	国際シンポジウムの開催
2008年度	国際共同シンポジウム「帝国主義と文学—植民地台湾・占領区・満州」	馬場毅(愛知大学教授)	国際シンポジウムの開催
2007年度	東アジアの中の日本と台湾	江夏健一(早稲田大学台湾研究所所長)	日台双方の研究者によるシンポジウム
2007年度	清末中華民国初期の日中関係—協調と対立の時代—	山田辰雄(放送大学教授)	国際シンポジウムの開催
2007年度	日台における国際教育の研究と実践	江原裕美(帝京大学教授)	日台双方の研究者による国際教育研究大会の開催
2007年度	日台比較文化研究のための日台合同ワークショップ	藤井省三(東京大学教授)	日台双方の研究者によるワークショップの開催
2007年度	人物・キャラクターの視点による前近代文学史構築の研究	相田満(国文学研究資料館助手)	日台共同国際シンポジウムの開催
2007年度	国策会社・台湾拓殖会社の研究	林玉茹(中央研究院副研究員)	台湾拓殖会社档案等の調査・国際シンポジウムの開催
2007年度	中国文化研究に於ける文学の果たす役割に関する学術シンポジウム—台湾淡江大学語言文献資源研究所を招いて—	高橋智(慶應義塾大学付属研究所斯道文庫助教)	日台学術シンポジウムの開催
2006年度	日中戦争期の中国における社会と文化	山田辰雄(放送大学教授)	国際会議の開催
2006年度	中国語圏映画の政治性	道上知弘(慶應義塾大学講師)	日台双方の研究者による公開研究会・シンポジウムの開催
2006年度	戦後日台関係史の総合的研究	松田康博(防衛庁防衛研究所主任研究官)	日台双方の研究者によるワークショップの開催
2006年度	植民地時代の日本語教育～談話分析から見えてくるもの～	山根智恵(山陽学園大学助教)	台湾人日本語話者に対するインタビュー
2006年度	近現代中国と東アジアの公共性—自由と統合をめぐる—	村田雄二郎(東京大学大学院教授)	国際シンポジウムの開催
2005年度	日台現代文学研究交流	中沢けい(法政大学文学部教授)	研究者交流・セミナー・作家へのインタビュー
2005年度	国際的グローバル化状況における中国語圏映画の可能性	木全純治(愛知淑徳大学講師)	日台双方の研究者による公開研究会・シンポジウムの開催
2004年度	日台研究の新潮流	石田浩(関西大学教授)	日台双方の研究者によるワークショップの開催

2004年度	戦後より1972年に到るまでの日華外交史研究フォーラム	別枝行夫(島根県立大学教授)	日台双方の研究者による会議の開催
2004年度	戦没者慰霊に関する日台比較研究	檜山幸夫(中京大学教授)	全国各地の戦没者慰霊碑・墓地などの実地調査
2004年度	政党－社会関係からみた中国近現代史研究の再構成	高橋伸夫(慶應義塾大学助教授)	日台双方に研究者によるセミナーの開催
2004年度	台湾原住民研究－日本と台湾、過去と現在	末成道男(東洋大学社会学部教授)	日台双方の研究者によるワークショップの開催
2004年度	境界を越えて:台湾研究への新しい視座を探る	五十嵐真子(神戸学院大学人文学部助教授)	日台双方の研究者によるワークショップの開催
2003年度	戦後日台関係史に関する外交史的検討	川島真(北海道大学助教授)	日台双方の研究者による会議の開催
2003年度	中国近代政治研究の新視角	西村成雄(大阪外国語大学教授)	日台双方の研究者によるセミナーの開催
2003年度	台湾における植民地主義の研究	三尾裕子(東京外国語大学助教授)	日台双方の研究者によるワークショップの開催